

# 事業報告書

団体名：亀岡地区保護観察協会

1. メニュー名	(1) スタート事業      該当するメニューを○で囲んでください <input checked="" type="radio"/> (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	「家族のチカラ」を考えるフォーラム (亀岡地区保護観察協会設立 50 周年記念事業)
3. 実施場所	ガレリアかめおか響ホール他
4. 実施期間	平成30年4月1日 ～ 平成30年9月30日
5. 目的と課題	支援金申請書に書いた、申請事業の目的と設定した地域の課題を改めて記入してください。
<p>更生保護活動は「犯罪に悩み苦しむ悲運な家庭を慰め、二度と犯罪を繰り返さないよう常に見守り、心情を慰め、犯罪をなくして、平和で豊かな社会環境を作るため日夜、陰に陽に活動を続け、成果をあげる」ことであります。亀岡地区保護観察協会は、こうした活動を側面から応援するため、昭和44年4月に多くの皆様のご理解を得て設立発足いたしました。設立当初の趣旨を今日も全うすべく、ご理解のある会員諸氏に温かいご支援、ご後援いただいているところでありますが、このたび当協会設立50周年の節目の年を迎え、一般市民の方にもさらなる理解を求めべく、啓発を主目的とした講演会を開催したく思います。</p> <p>なお、平成28年中の亀岡における犯罪件数は、非行少年グループへの取り締まり強化や各団体間の協働活動が奏功し465件で前年対比マイナス94件と減少傾向にあるものの、一方で空き巣被害や痴漢などの性犯罪が増加するなど、新たな課題が浮き彫りとなり、地域の安全安心のために一層の努力が求められています。</p>	
6. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(実施スケジュール、会場、内容、講師名、参加者数、参加者の声、その他情報など)
<p>●記念事業プロジェクトチームの立ち上げ          亀岡市保護司会、亀岡地区更生保護女性会等のメンバーにより結成。記念講演会や啓発活動について定期的に打合せを重ねていきます。</p> <p>①臨時役員会にてプロジェクトチーム結成を承認          日時：平成30年2月5日(月)10:00～12:00          場所：ガレリアかめおか3階第4会議室          プロジェクトチーム…足立会長、松井副会長、山本常任理事、武田保護司、常田更生保護女性会会長、事務局松尾(6名)</p> <p>②第1回プロジェクト会議          日時：平成30年3月23日(金)10:00～12:00          場所：ガレリアかめおか3階第2会議室          議題：記念事業プログラムの検討、役割分担等</p>	

\* 第1回プロジェクト会議の結果を受けて、講師の団士郎さんと打合せ

(4月25日、河原町御池界隈の喫茶店にて、1時間)

③第2回プロジェクト会議(実質最終打合せ)

日時:平成30年8月8日(水)13:30~16:30

場所:安町ホーム和の家(リビング)

議題:記念事業プログラムの詳細を確認、当日を含む役割分担の確認

\*以後、メールにて情報共有

●記念講演会

日時:2018年9月29日(土)13:30~16:00

会場:ガレリアかめおか響ホール

講演テーマ:『家族のチカラ~地域の安全安心は“家族”から~』

地域の安全安心に直結する問題である割に、保護観察のことを知られていないのが現状です。今回の講演会では犯罪をおこさせない「予防的」見地から、実際にあった身近な「家族」の問題を取り上げ、多くの皆様から理解が得られました。

講師:団士郎さん(仕事場D・A・N主宰、立命館大学客員教授)

対象者:一般市民(どなたでも)

情報発信方法:亀岡市おしらせ版およびホームページ(広報申請予定)、京都新聞社、ガレリアニュース(申請予定)、Facebookページ、自治会、チラシ配布、ポスター掲示(公共施設)等

7. 成果と課題

事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果と課題を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。

●講演会の来場者数

【目標】200名(うち半数は一般市民を目指す)

【実績】120名(一般市民38名)\*達成率:60%

内訳:観察協会15、保護司会22、更生保護女性会45、一般38

●アンケート回収:58名(詳細別紙)

●寄付(募金箱):995円

●書籍販売:45冊

●告知方法

①会員向けA4サイズ告知チラシ1000部作成、順次配布、

②関係先に後援申請⇒市役所、ガレリアに、ポスター掲示、チラシ配架

③一般市民向けA5サイズチラシ10000部ポスティング(市内住宅地)9月10日~20日

④くすのき瓦版 9/15 京都新聞折込 18000部

⑤会員向けに往復ハガキにて出欠確認 8月中旬~8月下旬 200人

⑥亀岡市お知らせ版 9月1日号(原稿別紙)

- ⑦各自治会 ポスター掲示依頼 8月下旬
- ⑧市役所職員用掲示板にポスター掲示 8月下旬
- ⑨京都新聞 告知記事依頼、まちかど欄掲載
- ⑩ガレリア、市役所ロビー ポスター差し替え 8月中旬

**8. 今後の展開** 事業の実施成果と課題を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。

継続的に安定した財政状態を確保するために、新規に企業への寄付協力依頼や「亀岡 NAWASHIRO 基金」へのエントリーも検討しております。

⇒今回の事業を通じて、一定の理解を得られたと思うので、前向きに検討したいと思います。

**9. 協働の効果** 今年度の事業実施にあたって、他団体等と協働（協力）された事例がある場合は、その効果や今後の関わり方について、記入してください。  
※市民連携事業に関わらず、他団体との関わりがあった場合は記入してください。

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料がある場合は添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。



2018.9.29 亀岡地区保護観察協会設立50周年記念式典



ガレリアかめおか響ホール



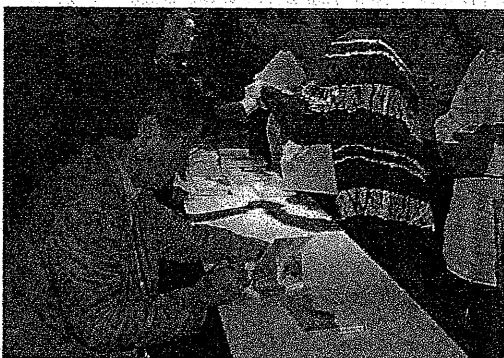
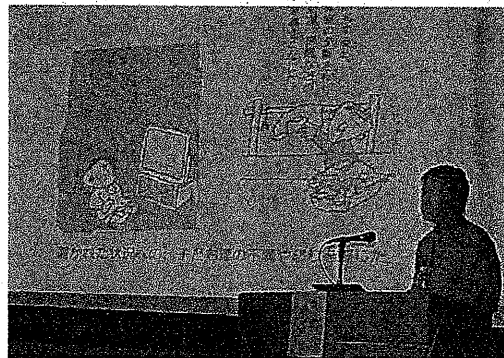
足立会長の挨拶



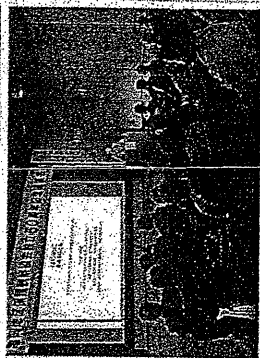
感謝状の贈呈



来賓代表、桂川亀岡市長の挨拶



記念講演会(田 十郎さん)



家族の多様性について考えた講演会(亀岡市余部町カシリアかめおか)

亀岡地区保護観察協50周年講演

家族の多様性を考える

亀岡地区保護観察協会の設立50周年記念講演会「家族の手カシ」が29日、亀岡市余部町のカシリアかめおかであった。立命館大客員教授の団十郎さんが、30年以上にわたりと

もの家庭環境の相談に携わってきた経験から家族の在り方の多様性について話した。同協会は、刑務所や少年院からの仮出所者らの更生を援助する保護司会や更生保護女性

会の活動を支援し、約300の個人や事業所が参加している。

児童相談所などで多くの家族の問題に関わってきた団さんは「家族の一人の思わぬ行動が解決につながることもある。家族は多様で、そこに力がある」とした。

自暴自棄になっている人も、理解されると実感すれば頑張る力を出すと話し「理解は援助につながる。実践してほしい」と呼びかけた。(藤松奏美)



亀岡地区保護観察協会設立50周年記念講演会

# 家族のチカラ

～地域の安全安心は「家族」から～

9月29日(土)

13:30～16:00

開場13:00

入場無料  
どなたでも

ギャラリーかめおか 響ホール

亀岡市余部町宝久保1-1

講師: 団 士郎さん

演題: 「家族のチカラ」

## 講師プロフィール

- 仕事場D・A・N主宰
- 立命館大学 客員教授
- 日本漫画家協会会員

公的相談機関の心理職として25年、大学院教員として18年、一貫して家族相談に従事。家族療法のトレーナーとしても30年以上全国各地でワークショップを開催している。

漫画「家族の練習問題」第1巻～第7巻、東日本大震災家族応援プロジェクト10年プログラム継続実施中。

## 【後援(申請予定)】

- 亀岡市
- 亀岡市教育委員会
- 亀岡市PTA連絡協議会

- 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金事業
- 京都オムロン地域協力基金事業 (申請予定)

主催: 亀岡地区保護観察協会

お問合せ: 事務局 松尾 090-3848-8676 メール genki@kame-genki.org